

愛知県 地域コーディネーター等研修会

地域と学校の連携・協働に向けた取組 「うしく放課後カッパ塾」「うしく土曜カッパ塾」

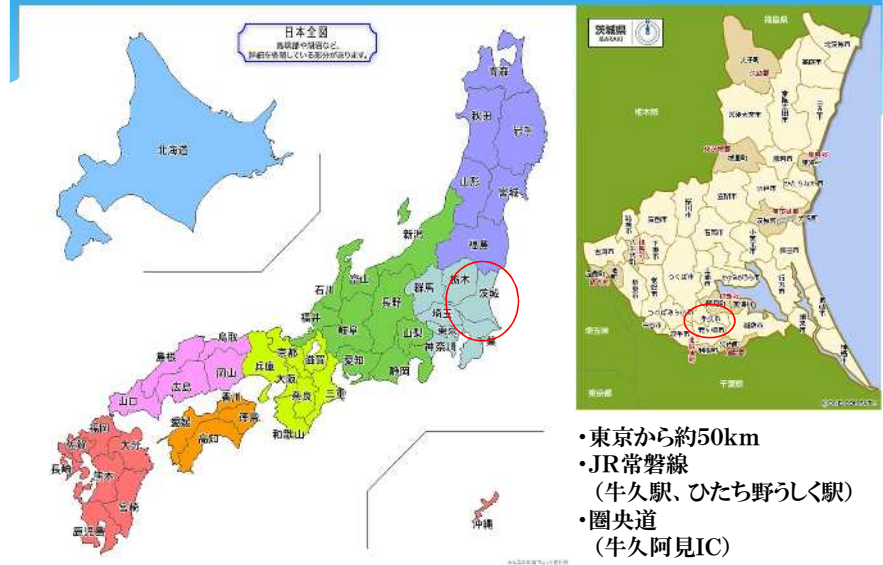
令和元年7月29日(月)

茨城県牛久市教育委員会 生涯学習課

派遣社会教育主事 高森 志保

1

茨城県 牛久市の概要



2

茨城県 牛久市の概要

- * ○人口 85,076人(H31・3末時点)
- * ○小学校8校、中学校5校、高等学校3校
- * ◎位置・交通の地理的優位
- * ◎「子育て・教育」の充実を目指した取組
- * ・**学びの共同体**による学校・授業づくり
- * ・**児童クラブ**は小学校全学年を対象

3

牛久市の政策における地域と学校の連携・協働した取組

「牛久市人口ビジョン」
2060年の総人口
「8万4千人」

牛久市まち・ひと・しごと
創生総合戦略
若い世代の結婚・出産・子
育て・教育の希望をかなえる

出産・子育て世代の転入増加

個別施策(具体的な取組)

放課後や土曜日の教育活動を
充実させる

4

放課後の学習支援

「うしく放課後カッパ塾」

- * ○基礎学力の向上や学習習慣の定着を図るための児童・生徒への学習支援
- * ○国庫補助「地域未来塾」事業(H27～)活用
- * 「経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生・高校生等への地域と学校の連携・協働により学習支援を実施」する事業。

「うしく放課後カッパ塾」

小学校：余裕教室を使って放課後の自習支援活動

小学校：子供たちに寄り添う学習指導員

小学校：学び合う子供たち

様々な方が学習指導員に登録しています

(学校の授業を支援する)
牛久市スクールアシスタント

教員免許所有者

5

土曜日の教育活動

「うしく土曜カッパ塾」

- * ○地域の方々の参加・協力を得て、豊かな体験活動や学習を実施
- * ○国庫補助「地域の豊かな社会資源を活用した土曜日の教育支援体制等構築事業」(H26～)活用
- * 「地域の多様な経験や技能を持つ人材・企業等の協力を得て」「地域と学校の連携・協働による教育支援体制を構築し、地域の活性化を図る」

「うしく放課後カッパ塾」

小学校：図書室を使って放課後の自習支援活動

いつでも辞書や本で調べられる環境で学習

中学校：理数英が得意な指導者をできるだけ配置

大学生（国立）
（教員志望）

元校長先生（英語）

中学校：必要に応じて、講義形式で教えています

7

6

8

放課後学習指導員の内訳 (H30)

○登録数 54人

- ・元教員・教員免許所有者 (31人) 58%
- ・大学生(教職課程) (5人) 9%
- ・一般 (18人) 33%

塾講師・理科学系大卒・一級建築士
元国家公務員・気象予報士資格所有者
元公務員・主婦 等

元教員・大学生が約6割、一般の方の多くが
高学歴や高い指導スキル

9

放課後学習指導員の内訳 (H30)

○年齢

- ・10代・20代(5人) 9%
- ・30代・40代(5人) 9%
- ・50代 (11人) 21%
- ・60代・70代 (33人) 61%

○地域(市内47人、市外7人)

60代以上が約6割、市内在住が8割以上

10

「うしく放課後カッパ塾」

学習指導員の資質向上のために研修会を実施(年3回)

11

「うしく放課後カッパ塾」

成果と課題

成果

① 参加実績

- ・対象者の約12%がカッパ塾に登録
(小学4年～中学3年を対象)
- ・全校で週2回実施

② 児童生徒の感想(アンケート)

	小学校	中学校
友達と一緒に勉強できる	74%	60%
先生に教えてもらえる	45%	58%
進んで勉強するようになった	60%	65%

12

「うしく放課後カッパ塾」

成果と課題

課題

- ① 学習指導員の確保
(大学生や若い世代の参加促進)
- ② 特別支援学級在籍の児童への対応
- ③ 学校との連携

13

「うしく土曜カッパ塾」

市内全小学校で学びを豊かにする体験・学習活動を実施

土曜カッパ塾の主な活動(H30)

- ・A小学校(英語・造形・地域調査・絵手紙等)
- ・B小学校(英検漢検に向けた学習、ダンス等)
- ・C小学校(英語・料理・理科・絵画・スポーツ等)
- ・D小学校(英語・エコ工作・算数・理科・造形等)
- ・E小学校(英語・理科・絵手紙・スポーツ・造形等)
- ・F小学校(英語・理科・音楽・算数等)
- ・G小学校(英語・理科・絵手紙・造形・算数等)
- ・H小学校(英語・理科・造形・合唱音楽・茶道等)

市内全小学校で161回実施

14

A小学校の活動例

英語活動(在外経験者や外国人の指導者)

保護者や外国語に堪能な方がサポーターとして協力

合唱・音楽(非常勤講師・音楽大卒者の指導者)

ピアノ演奏家の保護者がサポーターとして協力

料理(栄養士資格所有者と市ヘルスメイトの指導者)

市内全小学校の「土曜カッパ塾」で200人以上の地域の方が、指導者やサポーターとして参加・協力

保護者や地域の方が班に1人サポーターとして協力

15

B小学校の活動例

絵手紙(地域の方が指導者となり、月1回実施)

C小学校の活動例

造形教室(芸術学科卒業の指導者)

D小学校の活動例

地域学習(発掘体験をしよう)

遺跡調査の専門家から説明をうけながら土器を発見

16

E小学校の活動例

絵画教室(画家の先生の本格的な指導)

F小学校の活動例

スポーツ鬼ごっこ(国体デモンストレーション競技)

G小学校の活動例

ダンス教室(うしく鯉まつりで発表)

H小学校の活動例

音楽教室(うしく音楽家協会の演奏会)

土曜カップ塾の活動について

成果と課題

成果

- ・小学校 全児童が対象
- ・各校で 2~3回/月 実施
- ・全児童 約20%の参加者

課題

- ・活動内容のマンネリ化
- ・地域学校コーディネーターの人材育成
- ・緊急時の対応(怪我や体調不良等)

17

18

地域と学校の連携・協働による取組の推進

体制づくり

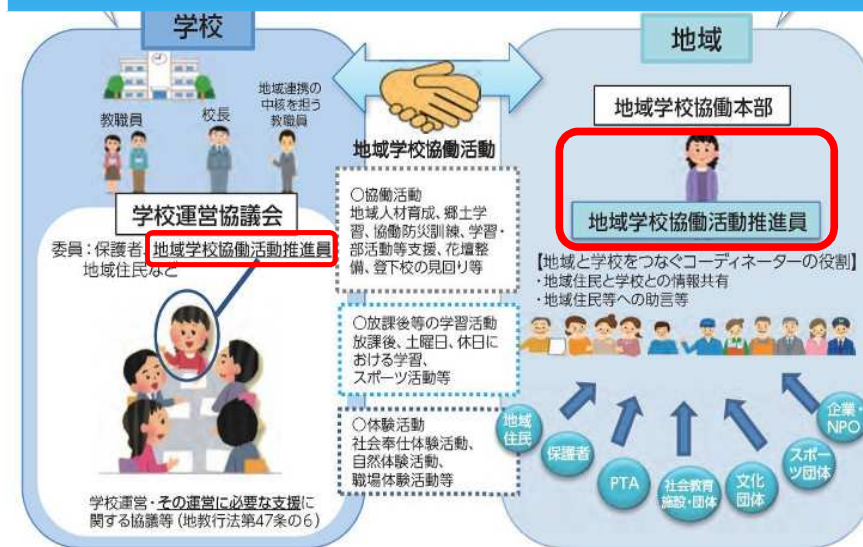
○「地域とともにある学校」づくり

- ・コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入

○「学校を核とした地域づくり」

- ・(仮称)地域学校協働活動ネットワークの準備

地域と学校の連携・協働による取組の推進



19

20

地域と学校の連携・協働による取組の推進

具体的施策

○「地域学校コーディネーター」の育成

- ・平成27年度 養成講座を受講
- ・平成28年度～ 研修会の実施
【実践】土曜カッパ塾の企画運営

○「地域学校協働活動」の実践

- ・「うしく放課後カッパ塾」「うしく土曜カッパ塾」を
地域学校協働活動の1つとして

21

地域学校コーディネーター養成のためのサポート体制

○先進地視察 平成26年5月

横浜市都筑区東山田中学校コミュニティハウス
(竹原和泉館長)

22

地域学校コーディネーター養成のためのサポート体制

(1) 地域学校コーディネーターの養成

○平成27年度 養成講座を実施

- ・5月 先進地視察にて、地域と学校が
連携・協働するためのコーディネーターの重要性・必要性を実感
- ・8～10月 学校にコーディネーター候補者を推薦してもらう
- ・11月 16名の受講生による養成講座
(全4回)を開始

23

地域学校コーディネーター養成のためのサポート体制

○H27養成講座【第1回】 11月

- ・開講式(教育長あいさつ)
- ・牛久市の学校・地域連携の状況
- ・牛久市の教育について
- ・地域学校コーディネーター経験者による話
- ・地域学校コーディネーターの役割について

24

地域学校コーディネーター養成のためのサポート体制

OH27養成講座【第2回】 11月～2月

- ・ワークショップ(具体的活動を体験する)
- ・「うしく放課後カッパ塾」の見学
- ・「うしく土曜カッパ塾」サポーター体験
- ・活動後の振り返り(感想・意見・情報交換)

25

地域学校コーディネーター養成のためのサポート体制

OH27養成講座【第3回】 12月

- ・講話 「地域とともにある学校」
- ・講師 竹原和泉氏

26

地域学校コーディネーター養成のためのサポート体制

OH27養成講座【第4回】 3月

- ・閉講式
- ・実践を通して気付き・問題点等について
- ・地域学校コーディネーターとして今後の見通し

27

地域学校コーディネーター養成のためのサポート体制

地域学校コーディネーター

	人数
平成27年度	16名
平成28年度	18名
平成29年度	23名
平成30年度	29名
令和元年度	28名

元PTA役員、スクールアシスタント、
民生委員、地区育成会、読み聞かせボランティア、
土曜カッパ塾サポーター、元教員 など

28

地域学校コーディネーター養成のためのサポート体制

(2) 地域学校コーディネーターの研修

毎年3回の研修会を実施

○研修会【第1回】

- ・地域学校協働活動について
- ・牛久市の目指すコミュニティ・スクールについて
- ・連携・協働に向けた具体的活動について

29

地域学校コーディネーター養成のためのサポート体制

○研修会【第2回】

- ・地域学校コーディネーター同士の情報交換
- ・今後の活動の見通し
- ・学校の教育支援活動について
- ・コミュニティ・スクールについて

30

地域学校コーディネーター養成のためのサポート体制

○研修会【第3回】

- ・講話 「コミュニティスクールの目指すもの」
- ・講師 照屋翔大氏（茨城大学准教授）
- ・コミュニティスクール推進委員研修と兼ねて実施

31